

第7回地域防災シンポジウム

～ICTを用いた大学・研究機関のBCP確立に向けて～

大阪をメイン会場に高知、岩手、静岡サブ会場をJGN-Xで相互接続して、東日本大震災を教訓とした地域防災の取り組みや、今後想定されている南海トラフ巨大地震などの大規模災害においても頑強で有効活用できる情報通信技術について、最新の技術動向や活用事例を紹介します。参加者の皆様との議論を通して現状、今後の課題の確認とその解決策を模索します。

日時：平成27年9月25日(金) 10:30(受付開始)～17:00

場所：大阪会場(メイン会場) 関西大学 千里山キャンパス
高知会場(サブ会場) 高知工科大学
岩手会場(サブ会場) 岩手県立大学
静岡会場(サブ会場) 静岡県立大学

定員：30名(大阪メイン会場)、20名(高知会場)、20名(岩手会場)、10名(静岡会場)

主催：関西大学社会信頼創生研究プロジェクト

共催：高知工科大学、岩手県立大学地域連携本部、静岡県立大学ICTイノベーション研究センター

後援：総務省近畿総合通信局、けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)

1. プログラム

10:50～11:00 開会挨拶 関西大学社会学部教授 与謝野有紀

座長：角谷賢二

【学生セッション】

11:00～11:20 関西大学 社会学部 与謝野ゼミ
「大学のBCPの事例と関西大学での今後の展開」

11:20～11:40 岩手県立大学 大学院 佐藤剛至
「大規模災害時でも繋がるネバーダイネットワークの実現について」

11:40～12:00 高知工科大学 大学院 田中麻実
「災害時における電子カルテ秘密分散データの利用」

～ 昼食・休憩 ～

座長：与謝野有紀

【特別講演1】

13:00～13:30 けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
グローバルコミュニケーション準備WG 主査 副枝裕司
「グローバルコミュニケーション計画と関西における取り組みについて」

【特別講演2】

13:30～14:00 関西大学 環境都市工学部 特任教授 大西有三
「BCP確立を支援する新しいインフラモニタリング技術」

【特別講演3】

14:00～14:30 フロリダ大学教授 José Fortes
“Resilient IT for disaster response and recovery”

～ 休憩 ～

座長：和田友孝

【先進研究発表および事例紹介】

14:40～15:00 岩手県立大学 地域連携本部長 柴田義孝
「DTNを利用したResilientネットワーク」

15:00～15:20 日立造船株式会社技術開発本部技術研究所 主管研究員 三宅寿英
「GPSを用いた津波観測システム」

15:20～15:40 高知工科大学教授 福本昌弘
「南海トラフ巨大地震に備えた地域医療連携ネットワーク」



座長：福本昌弘

- 15:40～16:00 関西大学 システム理工学部准教授 和田友孝
「局所的災害発生を自動認識・通知する緊急救命避難支援システム」
- 16:00～16:20 静岡県立大学 ICTイノベーション研究センター長 湯瀬 裕昭
「県市町災害ボランティア本部間での情報共有支援」
- 16:20～16:30 閉会挨拶 岩手県立大学理事・副学長／地域連携本部長 柴田義孝

2. 参加について

【大阪メイン会場】出欠を、下記までEメールにて連絡ください。
関西大学事務局 角谷 sumiya@jm.kansai-u.ac.jp
シンポジウム：参加料無料

【サブ会場】各会場にて参加募集、管理運営をお願いします。

3. 大阪メイン会場の交通

関西大学社会学部 第3学舎3号館5階 旧STEPセンター
大阪府吹田市山手町 3-3-35
<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/access.html>

【新幹線新大阪駅からのアクセス】

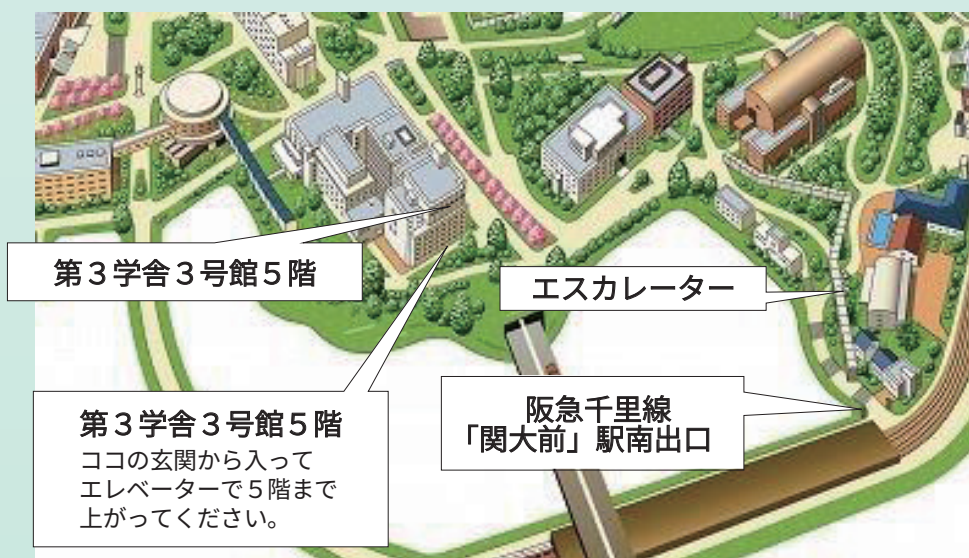
JR「新大阪」駅から地下鉄御堂筋線「なかもず」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方（みなみかた）」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車（この間約30分）徒歩約7分。

【大阪（梅田）からのアクセス】

阪急電鉄「梅田」駅から、千里線「北千里」行で「関大前」駅下車（この間約20分）、徒歩約7分。または京都「河原町」行（通勤特急を除く）で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

【京都（河原町）からのアクセス】

阪急電鉄「梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、徒歩約7分。



【シンポジウム事務局】

関西大学社会学部教授 与謝野有紀 yosanoa@kansai-u.ac.jp
関西大学学長室シニア URA 角谷賢二 sumiya@jm.kansai-u.ac.jp



KANSAI
UNIVERSITY